

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	基礎的な分野を幅広く学び、歴史学・考古学を学ぶための広い視野を修得する。	考古学の基礎や実践的な発掘調査の方法を実習科目を通して学び、身につける。	日本や海外での発掘調査を経験し、実践的な研究方法を学ぶ。	卒業論文に取り組む。考古資料の収集、分析、解釈を行い、自ら設定した課題を実証的に解明する。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 日本考古学概説 考古学基礎演習 ① 	<ul style="list-style-type: none"> 外国考古学概説 考古学発掘実習I 考古学史 ② 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学発掘実習II 考古学演習I 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学演習II 卒業論文
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> 日本史概説 	<ul style="list-style-type: none"> 東洋史概説 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋史概説 	<ul style="list-style-type: none"> 世界史概説 史学概論
		<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習(写真) ③ 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習(実測) ④ 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習(情報) ⑤
選択	<ul style="list-style-type: none"> 記録史料学I(古代・中世) 記録史料学II(近世) 記録史料学III(近代) 記録史料学IV(近現代) 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学各説I~IV(A/B) ⑥ 考古学特講I~X(A/B) ⑥ 日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近代史 日本古代史特講I-II(A/B) 日本中世史特講I-II(A/B) 日本近世史特講I-II(A/B) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本近代史特講I-II(A/B) 日本近現代史特講I(A/B) 日本仏教史 日本文化史 日本現代史 西洋文化史I-II 有職故実 日本民俗学 歴史地理学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 人文地理学概説 地誌学 哲学史 仏教美術史 西域美術史 美術史概説 ラテン語 ギリシャ語 仏教史I-II
		<ul style="list-style-type: none"> 日本史学史I-II 		<ul style="list-style-type: none"> 古文書研究I-II
				<ul style="list-style-type: none"> 史料調査実習(発掘実践実習)

① 考古学基礎演習

考古学で求められる資料作成と伝える技術を修得します。各自で興味のあるテーマを選択し、遺跡や博物館などで実物を観察した上で発表を行います。

④ 考古学実習(実測)

実測(出土品を図に描き資料化すること)は、考古学の最も基本的な技術の一つです。実際に土器や石器に触れながら、遺物を詳細に観察する方法や図として表現する手法を学びます。

② 考古学史

江戸時代に始まった日本の考古学研究を振り返ります。代表的な研究者を取り上げ、発見や研究手法を学びながら考古学史を概観。自身の研究テーマや研究方法を確立する一助とします。

⑤ 考古学実習(情報)

考古学研究にはコンピュータの活用が欠かせません。情報の集め方をはじめ、Photoshop、Illustrator、GIS分析ソフトの使い方を覚え、図版・画像の加工や資料作成、地理解析を行います。

③ 考古学実習(写真)

発掘調査で求められる写真撮影の知識や技術を身につけます。一眼レフカメラの使い方を学び、屋外で練習。照明設備に応じた撮り分けや画像処理、暗室での現像などを学びます。

⑥ 考古学各説・考古学特講

旧石器時代から古代までの日本、中央アジアや南米など各時代、各地域の考古学研究や文化財保存の最前線で活躍する講師陣が、最新の研究成果と課題を分かりやすく講義します。

Message

発掘の楽しさをきっかけに、考古学の魅力を広めたい

中学校の職場体験で博物館の発掘作業を体験したことをきっかけに、考古学に興味を持ちました。高校の進学相談会で駒澤大学の歴史学科や考古学の魅力を聞き、発掘ができる環境に惹かれて進学を決めました。2年次の中央アジア考古学の授業では、東西文化交流の拠点としての中央アジアの重要性を学び、文様の伝播など具体的な事例からその面白さを実感しました。3年次からは中国での発掘実習に向け、中国語の勉強会や遺跡

説明会に参加しています。将来は、生徒が歴史に興味を持ち、授業が楽しかったと思えるような教員を目指しています。少人数教育で先生が丁寧に指導してくださる環境の中で成長できることを実感しており、考古学は具体的なイメージが湧きにくい分野かもしれませんが、先生の丁寧な指導や熱心な学生に囲まれ、成長できる環境が整っています。不安に思わず挑戦してその面白さを体験してほしいと思います。



伊得 主恭さん
 歴史学科 考古学専攻 3年
 山村国際高等学校 出身

1 Week Schedule

[2年次] 前期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1			生徒指導論(進路指導を含む)	選修教育の理論化(方法・選修教育の研究)		
2	人文地理学概説	考古学各説ⅢA	考古学各説ⅠA	考古学特講ⅤA	日本史概説	学校図書館メディアの構成
3	英語ⅡAa	学習・発達論	考古学発掘実習Ⅰ	考古学特講ⅠA	考古学史	政治学原論
4	学習指導と学校図書館		考古学発掘実習Ⅰ	地誌学概説/地誌学	教育基礎論	
5	新卒の就職活動(新卒生限定)			英語ⅡBa	世界史概説	
6						

■ : 学校図書館司書教諭講座 ■ : 教職課程